



非正規の気持ちを理解して欲しい

最高裁は十三日、非正規従業員に賞与や退職金不支給の是非について判決。不支給を「不合理とまで評価できない」とした。

同一労働同一賃金

賞与についての判決では「正規は試業の管理をしていた」と言う。では雇い始める時、こうした業務の違いと賞与の有無等が明示されていたのだろうか？

仕事に差異がある？

非正規で働き始めても上司からは正規職員と同じように仕事をすることが求められ、皆、懸命に働く。

綱引きに例えれば、正規も非正規も力を合わせて綱を引く。誰も「私は非正規だから力も半分です」とは云わない。

そして期末に「同じに頑張ったのに、正規にはボーナスがあるけど私にはない」となる。その時の気持ちを、エリート街道を歩んだ最高裁判事は理解しようとしませんか？

今、社会は同一労働同一賃金の方向に進んでいる。ヤマト運輸はフルタイムのドライバーをすべて正社員化。日通は非正規社員六千人の賃金を正社員の水準に引き上げ、福利厚生も適当に拡大。

今回の判決は、こうした世の中の流れに逆らう判決だ。米国ではトランプが最高裁人事保守化を狙っているが、実は日本でも保守化が進んでいるのか？

非正規は何時でも首切れるという使い方は？

体考え直すべきでは？

皆さんはどう思われますか？

大原隧道

神奈川県横浜市南区区南太田二丁目清水が丘
二〇二〇年十月



京急南太田駅近くに可愛らしいトンネルがある。

一九二八年開通の大原隧道。

高さ三・六m、幅二・四mの歩行者用。西谷の浄水場からの水を南太田、蒔田方面に送る六〇〇mmの水道本管を通す為に掘られた。

標高約五〇mの丘をくぐる。

一九六〇年代、このトンネルの路面には水が溜まり、

明かりも無かった。約二百m先の出口の明るさだけを頼りに歩いた。

今は照明も完備、路面も

整備されている。

トンネルのすぐ上にあるのは特養ホーム。横浜港や

東京湾、千葉県の眺望が楽しめるだろう。

この特養の裏は清水が丘公園。野球場、プール、テニスコートなどがある。

